



アンネのバラ

吉高人権だより

2021年 10月号

愛媛県立吉田高等学校 人権委員会発行

その時、あなたは許せますか

1年学年主任 土居 浩二

西条市の塩見さんの話です

彼女には4人の子どもがいましたが、長男を小学2年の時に白血病で亡くしました。末っ子の次男は健康で元気。この子は大丈夫だと喜んでいました。ところが、この次男が小学3年になった時、夏のプールの時間にプールの底に沈んで亡くなってしまった。近くの高校に勤めていた塩見さんに連絡が入り、大急ぎで駆けつけたが、次男はもう冷たくなっていた。子供たちが寄ってきて「ごめんよ、おばちゃん、ごめんよ」と口々に言う。「どうしたんや」と聞くと、10分の休み時間に誰かに背中を押されてコンクリートに頭を打ちつけ、沈んでしまったと話してくれた。「押したのは誰だ、犯人を見つけるまでは、学校も友達も絶対に許さんぞ」という怒りが込み上げてきた。新聞社やテレビ局が来て、大騒ぎになった時、同じく高校の教師だったご主人が大泣きしながら塩見さんを裏の倉庫に連れて行ってこう言ったそうです。以下原文を記す。

《「これは辛く悲しいことや。だけど見方を変えてみろ。犯人を見つけたら、その子の両親はこれから、過ちとはいえ自分の子は友達を殺してしまった、という罪を背負って生きてかないかん。わしらは死んだ子をいつかは忘れることがあるけん、わしら2人が我慢しようや。うちの子が心臓麻痺で死んだという診断書さえ書いてもろうたら、学校も友達も許してやれるやないか。そうしようや。そうしようや」

私はびっくりしてしもうて、この人は何を言うんやろかと。だけど、主人が何度も強くそう言うものだから、仕方がないと思いました。それで許したんです。友達も学校も……。

こんな時、男性は強いと思いましたね。でも、いま考えたらお父さんの言う通りでした。争うてお金をもろうたり、裁判して勝ってそれが何になる……。許してあげてよかったなあと思うのは、命日の7月2日に墓前に花がない年が1年もないんです。30年も前の話なのに、毎年友達が花を手向けて夕

ワシで墓を磨いてくれている。もし、あの時私が学校を訴えていたら、お金はもらえても、こんな優しい人を育てることはできなかった。そういう人が生活する町にはできなかった。心からそう思います》

過ちとはいえ愛する人が失われた……その時、あなたは許すことができますか。「誰かのために生きる時、人間の命は輝く」といいます。人は人によって輝くのです。人権・プライバシーという言葉が当たり前になってきている現代、個人の意見・思考が尊重される時代に「人を生かす」とは、どういう生き方になるのでしょうか？京セラの創業者稲盛和夫氏は「自分だけよければいい」という利己的で^{よこしま}邪な心をなるべく抑え、思いやりに溢れた美しい「利他の心」が自分の心の大部分を占めるように、心の庭を手入れしなければなりません、と言われていています。悪い人間性をもてば波乱万丈で困難なことが次々おこり、素晴らしい人間性・人格・人柄を持てばそれに合った素晴らしい出来事が起こってきます。さて、大人の私たちは、若者に手本にされるような生き方ができているのでしょうか？大人の今も自分の私利私欲が中心の毎日になってないのでしょうか？人生「与えるものが受け取るもの（因果応報）」と言います。徳を積む生き方、人に喜びを与えることが自分の人生の喜びになる。そういう人生にしたいものですね。

【人権・同和教育ホームルーム活動】



10月15日（金）に2学期第1回目の人権・同和教育ホームルーム活動が行われました。1年生は人権問題を考えるⅡというテーマで、外国人労働者問題やSNSの利用法などについて学習しました。2年生は人権の歴史Ⅱで、解放令発布から全国水平社創立までの歴史について学びました。3年生は結婚差別について学習を深めました。生徒の感想を紹介します。

もし、自分がそのような場面にあったり、知り合い友人などから相談があった場合には自分ができる精一杯のことをしようと思つた。身近な人の幸せや未来を守るために、その人の事を考えて、発言していきたいと思う。また、じぶんがそのような場面にあつた際も、今回の人権・同和教育の授業から学んだ事や考えさせられた事を活かしたい。今回の授業はいつも以上に心に残つたと思います。（3年生）

差別される側はなにも問題はなく、差別する側に問題があることがわかつた。差別をするような小さな人間になるのではなく、差別から他の人を守れるような大きな考えを持った人間になりたい。（2年生）